

市政報告



3月9日、水田ゆたか事務所開きにて

北市民病院の機能を維持し、安心して住める地域にするため、また地域住民の声を市政に届けるために、引き続きがんばる決意です。よろしくおねがいします。

道理が通らない

新年度予算

新年度の予算を決める3月議会は、市民税の減少、国からの仕送りと言われている地方交付税の減少から市民に負担を強いる予算となりました。

前回の12月議会で市長などの給料と退職金を引き上げて、次の3月議会で市民に負担を強いることは道理からも許せないと主張しました。特に次の議案について反対いたしました。

一、教育委員長と教育委員の報酬の引き上げ

委員長（月額）
3万3千円を5万3千円へ、委員（月額）
2万7500円を4万5千

円へという引き上げです。

反対理由 学校の給食費を値上げする。県費の学校の先生に駐車場代を負担させると言っているとき、教育委員長などの報酬を引き上げるのは時期が悪い。また上の者が我慢して下の者の方を厚くするのが教育だから反対。

二、学校職員に新たに駐車場代を徴収する件

反対理由 「ごみ有料化、北市民病院、久佐町の財産区の問題をみても頭ごなしに、これしかないというやり方からいざという問題が起きてい

発行者
小川 敏 男
水 田 豊
府中市出口町 1076-4
TEL 41-7894

る。今回も同じ「管理運営事項なので協議は必要ない」とおどかさようなやり方をしている。県教委や教職員組合と協議が整って提出すればいいことである。あまりにも強引なやり方と、前回の12月議会で市長などの給料退職金を引き上げて、次の議会でそれも県費職員に負担を強いることは道理が通らない。

三、財産区の財産の無償譲渡について

反対理由 入会地の管理を引き継ぐ「合併時の財産区」の所有権を、地方自治法の特別区の所有権とみなした本議案は、明治以来の歴史や実質管理者との間に多くの問題を浮き彫りにしている。今年には市政60周年、財産区も60年を経過している。51財産区あることから時間もかけた議案の精査が必要であることや、残り47財産区はどうなるのかはつきりしない。これでは継続性、透明性、安定性がない。

四 有料ごみ袋半額の半額据置き期間の延長

家庭ごみの排出量の減量化が継続されているとの理由から有料ごみ袋の料金の半額期間の延長が提案された。

反対理由 延長ではなく無料にすべきである。市長はごみ袋を無料に戻せば、ごみの量はすぐ元に戻ると答弁した。しかし、有料化以後5年が経過し、分別は市民の間に定着している。無料にしてもすぐにごみの量が元に戻るとは考えにく。家庭ごみは30%も減量となり当初の目的を達成しているのだから無料に戻すべきだ。



五 国府保育所の民営化

府中市が設置する国府保育所は、二年間の指定管理者制度の導入後、当初の予定通り民営化するとの提案である。

反対理由 民間でできるものは民間でとか民間活力の導入などと言われて久しいが、指定管理制度の導入は、行政コストの削減にあることは多くの識者が指摘をしていることである。また行政から民間に経営が移ることに、保護者の意見や苦情が届きにくくなるの不安もある。保育行政は、市の責任でおい、子どもの安全、保護者の信頼に応えることが必要である。

伊藤市政の財政運営は破たん寸前

市長給料はアップ、ツケは市民に！

伊藤市長の行財政運営は、いよいよ失敗が見えてきました。

市は「7億円ダイエットプラン」の中で、今後

の収入源として、上下水道料、学校給食費、住民票などの交付手数料などの値上げを明言しています。

一方で市長給料は88万

円、退職金は1760万円と大幅増です。

伊藤市長の財政運営に「ノー」の声をあげていきましよう。

府中市7億ダイエットプラン

～普通交付税の合併算定終了による収入減にどう対応すべきか～

平成16年の旧上下町との合併以降、特例措置として普通交付税に合併算定特分が加算されてきましたが、平成27年度から平成31年度にかけて加算分の約7億円が削減されます。つまり、約7億円の収入減に対する何らかの対策を講じなければ、予算編成が困難となり、市民サービスの低下を招くおそれがあります。このような事態を回避するためには、さらなる経費削減と収入の増加を図る必要があります。

『府中市7億ダイエットプラン』は、収入減に対応するための方針であり、今後の議論に必要な「たたき台」として作成したものです。見直し項目例と効果額の目安を下に示していますが、他の項目も幅広く検討しながら実のあるプランとしなければなりません。

歳入見直しによる増収目標額は33,600千円

(単位:千円)

見直し項目の例	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計
公共施設などの使用料・負担金	5,000	23,000	800					28,800
住民票などの交付手数料	500		3,000	100				3,600
広告料	400	500	300					1,200
計	5,900	23,500	4,100	100				33,600

【想定される収入源】

公用封筒の広告掲載料金、観光施設の入場料、職員駐車場の使用料、斎場使用料、住民票などの交付手数料、上下水道料、学校給食費などの値上げを想定しています。各種料金の値上げについては、受益者負担の原則に基づき、行政サービスに応じた公平な費用負担をお願いするものです。なお、価格の設定については、今後の経済情勢や景気動向に十分に配慮するものとします。

歳出見直しによる削減目標額は785,000千円

(単位:千円)

見直し項目の例	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計
職員人件費	48,000	27,000	70,000	27,000	44,000	78,000	36,000	330,000
特別会計・公営企業等に対する繰出金	67,000	163,000	20,000	30,000	32,000	49,000	21,000	382,000
事務事業の見直し	5,000	5,000	18,000	7,000	7,000	30,000	1,000	73,000
計	120,000	195,000	108,000	64,000	83,000	157,000	58,000	785,000

【想定される削減項目】

職員人件費、特別会計・企業会計に対する一般会計からの繰出金、保育所運営費、イベント経費、公共施設の維持管理経費、そして内部経費などの削減を想定しています。ただし、行政サービスの質を低下させないよう、真に必要な経費については予算措置するものとし、さらなる合理化によりその財源を確保します。

悪化するばかりの財政

2014年度予算

新年度予算の特徴は、府中市が「過疎地域」に指摘されたことです。これは左の「視点」をみてください。

もう一つは、「7億円ダイエツトプラン」と「公共施設の再編・整備計画の策定」

です。県費の学校の先生に駐車場代1600円の請求、そして学校給食費、水道料金など公共料金の値上げラッシュです。支出では、公共施設の再編・整備という名目で公民館なども削減していく方向です。この間行なってきた

た保育所や小中学校の統合と同じやり方です。町内会長が言われている「伊藤市長は国からの交付金で大きな事業ばかりして、町内会の要望は何もしてもらえない」という声に応えた予算ではありません。

また、この7億円ダイエツトプランを行なえば府中市財政が良くなるのかといえ、自由に使えるお金をみる経常収支比率は2012年度決算では94・4ですが8年後の2020年度には98・3に悪化する見込みです。

府中市の実力

東洋経済新報社発行の2012年版「全国810市区（市役所と区役所）の実力」によると府中市は総合556位で上中下で分ければ中の下となります。内訳で成長力は743位、経済力などの民力度272位、財政健全度652位、財政健全度は下の中ということになっていきます。

問われる

「7億円ダイエツトプラン」!

市長の給料引き上げが市民のひんしゆくを買っている。県内の市長は自ら報酬の一部を返納しているのに・・・なぜ?

賛成した議員（平成会）は「市の財政は健全だ」と口をそろえ、市長は「議会が決めたこと」と平然。その舌の乾かぬ3月議会に「7億円ダイエツトプラン」が発表された。その理由は交付税が7億円削減されるからという。7億円の削減は10年前から決まっていたこと。今さら何を言っただけである。7億円ダイエツトプランの中身は、職員30人削減、上下水道使料、学校給食費等の公共料金の

値上げ、各種使用料・手数料値上げ、負担金増等となっている。たね油は絞れば絞るほどほど取れる”とでも思っているのである。

情けなくて言葉も出ない!

先日、読売新聞が府中市が「過疎地域」に指定されたと報道した。財政力指数が国の基準値以下、人口減が国の基準値を超えたためだ。協和村、上下町を合併し順調にければ6万人を超えても不思議ではない街が現在4万2千人余り。市長は、さらに3万7千人を予測しているという。特に深刻な事態は、20・30代の市外流出が他市に比べ大きく市の将来に暗い影を落としている。

10数年前には、府中市は内陸工業都市と全国でも指折りの活力に満

ちた街だった。まさか、「過疎地域」に指定されるとは情けなくて言葉も出ない。

交付税、市民税が減る一方で借金返済が増える。市長は市民病院の建設と赤字補てんに毎年膨大な市の金（税金）を出すことを約束している。ダイエツトプランの本音は病院経営の補てんにある。第二の夕張市になることを危惧する。

このような状況下で4月20日には市長、市議会議員の選挙が行なわれる。議員は半分以上が入れ替わる。市長に対して、市民の声や自分の考えを言う議員を選んでいただきたい。議員は市長の擁護者ではない。市民の代表である。

視点 「本音は病院経営」

2013年度版は812市区中（2市区増）467位と前年より89位のアップ、中の中です。内訳は成長力754位で11位低下、民力度は276位で4位低下、財政健全度は741位89位低下とすべて低下していますが全体で89位ランクアップしています。これは東北大震災の影響で順位が上がったものです。財政健全度は652位から741位へ落ち、下の下になっています。

市政報告会

時 3月29日(土)

午後1時30分

所 上下町民会館大研修室

内容 3月議会報告、

病院問題、その他

ご参加をお待ちしております

市長等の給料引き上げ額

給料		引上げ額	
市長	825,000	→	880,000 55,000
副市長	671,000	→	715,000 44,000
教育長	627,000	→	670,000 43,000
退職金			
市長	14,355,000	→	17,600,000 3,245,000
副市長	7,246,800	→	8,580,000 1,333,200
教育長	6,019,200	→	6,700,000 680,800

※ 市長給料の引き上げは平成クラブの議員だけが賛成し可決。

第11回公判(結審)

(広島地裁平成24年(行ウ)第12号 地方独立行政
法人 認可取消等請求事件)

とき 4月9日(水)午後1時30分

ところ 広島地方裁判所302号法廷

内容 原告証人尋問、最終陳述書の提出
(公判終了後、弁護士の報告集会を持ちます)

出発時間 4月9日(水)午前10時

集合場所 上下町民会館一番奥の駐車場

参加費 2,000円

参加者希望者はこちらをご覧ください。

水田豊の読書日誌

ちょっとした勉強のコツ	外山滋比古
吉野弘詩集	吉野弘
大本営が震えた日	吉村昭
ピンポンさん	城島充
第3の新人名作選	講談社文芸文庫
ベストラ小説の書き方	ティーン・R・ケイツ

採算の取れる病院建設のチャンス

際限のない税金投入にストップを!

病院建設は当初37億円と言われていたが建設費だけで43億3800万円、設計や別館取り壊しなどを含むと約46億円になっていきます。

病院の支援も1年目は4億9000万円、2年目は4億4000万円、新年度は3億4000万円の予算が組まれています。

病院の採算性について、長い目でみて採

算がとれるかどうか、そのための医師招聘の見込み、診療科やベッド数の検討などを行い財政計画を示すべきだと考えます。そうした計画がしめされないまま、病院建設へ税金を投入し続けることに市民の理解は得られるとは思えません。いまず基本計画の見直しをしなければ、医療再生計画による地方独立行政法人化は、借金を返すことに四苦八苦している、桜が丘団地販売の二の舞になるのではな

いかと危惧するところです。

編集後記

議会運営委員会で社会クラブ3名が議案提出権に基づき、連名で市長の給料引上げ凍結の議案を提出した。ところが、平成クラブ、公明党の議員が否決し3月議会に上程できない事態となった。議員の議案提出権を多数決で否決する暴挙である。市長の給料の引上げは12月議会が決まったばかりだから次の議会で否定するのは、議会の権威をおとしめるんだそうだ。市民は、給料引上げを決めた議会こそ権威をおとしめていると感じているのではないか。また主張は議会ですらどうとすればいいのであって、本会議に上程させず葬り去るやり方は多数派のおごりである。市長の部下のような議員が多すぎる。